



蓮

W
 PA Certified Public Tax Accountants Office
パワーアライアンス税理士事務所
News

編集 発行人

パワーアライアンス税理士事務所
 税理士 若杉 治
 〒151-0073
 東京都渋谷区笹塚3-37-1
 第1花井ビル2F
 TEL 03 (5365) 4744(代)
 FAX 03 (5365) 4745
 E-mail info@wakasugi.zei-mu.net

7月

(文月) JULY

16日・海の日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31

ワンポイント 法テラス

全国どこでも法的トラブルの解決に必要な情報やサービスが受けられるよう、総合法律支援法に基づき平成18年4月に設立された法務省所管の法人。正式名称は日本司法支援センター。今年1月からは、新たに認知機能が十分でない者及びDV、ストーカー被害者への法律相談等が業務に追加されました。

7月の税務と労務

- 国 税 / 6月分源泉所得税の納付 7月10日
- 国 税 / 納期の特例を受けた源泉所得税(1月~6月分)の納付 7月10日
- 国 税 / 所得税予定納税額の減額承認申請 7月17日
- 国 税 / 所得税予定納税額第1期分の納付 7月31日
- 国 税 / 5月決算法人の確定申告(法人税・消費税等)、11月決算法人の中間申告 7月31日
- 国 税 / 8月、11月、2月決算法人の消費税の中間申告(年3回の場合) 7月31日
- 地方税 / 固定資産税(都市計画税)第2期分の納付
市町村の条例で定める日
- 労 務 / 社会保険の報酬月額算定基礎届 7月10日
- 労 務 / 労働保険料(概算・確定)申告書の提出(全期・1期分)の納付 7月10日
- 労 務 / 障害者・高齢者雇用状況報告 7月17日
- 労 務 / 労働者死傷病報告(4月~6月分) 7月31日

情報銀行

情報銀行とは

情報銀行とは、個人から本人に関するデータを預かり、預かったデータを活用することで得られた便益をその個人に還元する事業者をいいます。

タブレット端末やスマートフォンなどの普及によって、パーソナルデータは日々膨大に生成されています。金融サービスがデジタル化されたことや決済方法が多様化したことも、多種多様なデータが流通される要因となっています。このようなデータを様々な企業や団体が活用することで、新たなサービスの創出や個人の利便性の向上につながることが期待されます。

匿名加工情報制度

2017年に個人情報保護法が改正され、匿名加工情報の規定が新設されました。

匿名加工情報とは、個人情報情報を加工して特定の個人を識別することも復元することもできない状態にした情報をいいます。今回の個人情報保護法の改正で、匿名加工情報を、本人の同意を得ないで事業者の間でデータの取引やデータの活用を行うことができるようになりました。

匿名加工情報を作成する事業者は、特定の個人を識別できる記述などを削除するといった加工をしなければ

ばいけません。例えば氏名や顔画像といったデータは削除する必要があります。また年齢116歳など、国内で数名しかいないような特異な記述なども削除する必要があります。

匿名加工情報を作成したときや匿名加工情報を第三者に提供するときは、ホームページなどを利用して公表する義務があります。さらに、匿名加工情報を取り扱う場合は、本人を識別するために他の情報と照合することは禁止されています。

情報銀行の実証実験

昨年8月に、富士通株式会社とイオンフィナンシャルサービス株式会社は、パーソナルデータを活用した情報銀行の実証実験を行いました。

実験で実施された情報銀行の仕組みは、富士通が提供するパーソナルデータストア (PDS) を基盤として、パーソナルデータを所有者自身が管理・運用しながら、提供するデータ量に応じて対価を得るという仕組みです。パーソナルデータを提供する人は富士通の従業員で、年齢や居住地、家族構成などその人の属性情報や、趣味や嗜好、日々の気分や体調といったデータを自らの意思で提供、そのデータを開示する企業を承諾します。そして、預託した情報量や情報の内容、承諾

した開示先企業に応じて、「FUJITSUコイン」という仮想通貨が付与されます。FUJITSUコインは、富士通の本社事務所の近隣店舗で使えるクーポンと交換できるようです。

この実験で、富士通はパーソナルデータの管理方法や仮想通貨を個人へ還元する方法を検証します。一方イオンフィナンシャルサービスは、パーソナルデータを活用する事業者として、PDSへのアクセス方法や利用者の趣向に合わせた金融商品、サービスの情報提供を行います。両社とも、この実験を通じて情報銀行における新たなビジネスモデルの有用性の検討を進めています。

情報銀行の課題

情報銀行は個人のデータを活用する仕組みです。そのため、国民のコンセンサスを得ることが情報銀行の課題の一つに挙げられます。実際に、個人に関するデータについては、活用することよりも保護することのほうが重要だと考える人は多いようです。データを安全に活用できる仕組みを確立し、データ活用のメリットを国民に広めることで、情報銀行のようにデータを積極的に流通・活用する世の中になっていくことでしょう。

ボツリヌス症とは

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌が作り出すボツリヌス神経毒素の働きによって、麻痺症状がおこる病気です。

ボツリヌス症は大きく分けて、①ボツリヌス食中毒、②乳児ボツリヌス症、③成人腸管定着ボツリヌス症、④創傷ボツリヌス症の4つの型があります。その他には、医療行為や生物兵器によって感染することもあります。

医師は、ボツリヌス症の発症が認められた場合には、保健所に届け出をする義務があります。

ボツリヌス菌は、芽胞という固い殻に閉じこもった種子のような形をしています。このままの状態では増えることはないのですが、酸素が少ない状態になると芽胞が発芽し、ボツリヌス菌が増殖してボツリヌス毒素が作られます。

ボツリヌス食中毒

ボツリヌス食中毒は、ボツリヌス毒素によって汚染された食品を食べることで発症します。日本では、1984年に真空パック詰めのカラシレンコンやハヤシライスの具などが原因で感染が認められた事例があります。真空パック以外にも、里芋の缶詰やグリーンオリーブの瓶詰が原因となったこともあります。

ボツリヌス菌芽胞は、土壌や湖沼などに広く分布しているので、野菜や魚などに混入して食品が汚染されることがあります。芽胞の

食中毒

乳児

ボツリヌス症

創傷

成人腸管定着

状態では熱や消毒薬などに強いので、缶詰などの製造工程で加熱加圧処理をしてもボツリヌス菌芽胞は死滅しません。そして、真空パックや瓶詰などのように酸素の少ない状態になると芽胞が発芽し、ボツリヌス毒素が作られます。そのボツリヌス毒素を食品と一緒に食べることで、ボツリヌス食中毒が引き起こされます。

乳児ボツリヌス症

生後1歳未満の乳児が、ボツリヌス菌芽胞が口から体内に入り、乳児の消化管内で増殖しボツリヌス毒素が作られることで、乳児ボツリヌス症が発症します。日本で初めて乳児ボツリヌス症と診断されたのは、1986年でした。この時、乳児ボツリヌス症を発症した赤ちゃんはハチミツを食べており、そのハチミツからもボツリヌス菌が検出されました。

ボツリヌス菌芽胞が入っ

たハチミツを成人が食べても、成人の腸内ではボツリヌス菌は増殖しません。しかし乳児については、ハチミツを食べたことが原因と思われる症例が続いており、乳児にはハチミツを食べさせないことが、乳児ボツリヌス症の予防になります。

成人腸管定着ボツリヌス症

成人や1歳以上の子どもに、乳児ボツリヌス症と同じような症状が発症することがあります。これを成人腸管定着ボツリヌス症といいます。

通常であれば、ボツリヌス菌芽胞は腸内で増殖することはありません。しかし、生まれつき消化管に機能的な異常がある場合や、腸の手術を行って抗菌薬を投与している場合などは、腸管内でボツリヌス菌が増えやすい状態になっており、ボツリヌス症を発症することがあります。日本では、2016年に5歳児が発症した事例が報告されています。

創傷ボツリヌス症

創傷部がボツリヌス菌芽胞に汚染されることで、ボツリヌス毒素が産生されて発症するものを、創傷ボツリヌス症といいます。ボツリヌス食中毒より潜伏期間が長く、4日間から18日間とされています。食中毒の場合と異なり、発熱が認められる可能性があります。日本では、今のところ発症したという報告例はありませんが、アメリカなどでは麻薬使用者の間で増加しているようです。

パトラン

防犯パトロールとランニングを掛け合わせた造語の「パトラン」が、地域の安全を守る新しい防犯パトロールの取り組みとして注目されています。

「パトラン」は、福岡県にあるNPO法人改革プロジェクトが商標登録した言葉です。パトランを始めたきっかけは、一緒に活動していた女性メンバーが、帰宅途中に不審者の被害にあったことだったそうです。平成28年の警視庁の資料によると、日本で起こる性犯罪は年間約8,000件でした。そのうち犯罪が発生した時間帯は、18時以降が全体の60%を占めていました。

当初は5人で始めた防犯パトロールでしたが、徐々にモチベーションが下がり、最後には1人でパトロールをする状態だったそうです。そんな時に気が付いたのは、公園を走っているランナーの存在でした。このランナーに公園ではなく街中を走っても

らうことで防犯につながると考え、パトロールランニングを始めたそうです。これが「パトラン」が生まれたきっかけだそうです。

パトランには、20時～23時にパトロールを行う「夜間パトロール」と、15時～17時に活動を行う「下校時間パトロール」があるようです。どちらも活動時間は30分程度ですが、街頭犯罪の抑制だけでなく、参加者の仲間づくりや健康づくりにも、パトランは役に立っています。参加者の約4割を占める女性にとっては、自らパトロールをすることによって、危険な場所や不審者の情報を手に入れることができるので、自分自身の安全確保につながっています。

一般的な防犯活動の参加者は50歳以上が約8割を占めています。一方、パトランの参加者は30～40歳代が多いのも特徴になっています。パトランの参加をきっかけに地域の防犯活動を担っていくことが期待されます。

相乗りタクシー

国土交通省は、今年の1月から3月にかけて、東京23区と武蔵野市・三鷹市で、相乗りタクシーの実証実験を行いました。

相乗りタクシーを利用する場合、あらかじめ専用のアプリをダウンロードして、クレジットカード情報などを登録します。実際にタクシーに乗りたいときには、乗車地と目的地を入力します。入力された乗車地・目的地の情報から同乗者が検索され、同乗予定者が見つかり、確定運賃とお迎え時間が表示されます。自分自身と同乗予定者の双方が相乗り同意すると、タクシーが順番に迎えに来るという仕組みです。

また名古屋でも、今年の2月から3月に相乗りタクシー実証実験が行われました。名古屋の場合は、利用可能な時間帯が8時半から16時半に限られていたことと、降車時まで相乗りになるかわからないこともある点で、東京の仕組みと異なっていました。

米乳

牛乳や豆乳に続く第三のミルクとして、お米で作られた米乳が注目されています。米乳は、玄米や白米を粉末にして水に浸したあと、その濾過液に油と塩を加えて作られます。また最近では、米を酵素によって分解して油も塩も使用しないで作られるものも市場に出ています。米乳は低脂肪・低カロリーで、ビタミンやミネラルなど栄養価

も高く、ダイエット効果や美肌効果、むくみ・冷え性の予防改善に効果があるといわれています。日本でも、清酒や発酵調味料メーカーが、米乳を製造・販売するようになってきました。ただ、玄米を原料として使用している米乳は消化されにくく、消化不良が起きやすいこともあり、胃腸の弱い人や子供が飲むときは注意が必要です。